

平成 29 年 9 月 13 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(JASDAQ・コード7519)
問 合 せ 先
役職・氏名 取締役管理部長 小林 光博
電 話 0568-76-1050

子会社の「先端医療検査に関わるサービス事業の途中経過」及び

メディカルツーリズムサービスに関するお知らせ

平成 29 年 5 月 19 日付「先端医療検査に関わるサービス事業への参入及び先端医療検査に関わるサービス事業の子会社設立に関するお知らせ」にて発表しました、当社子会社の「先端医療検査に関わるサービス事業の途中経過」をご報告するとともに、子会社が、国立研究開発法人理化学研究所発ベンチャー企業である株式会社理研免疫再生医学（本社：東京都千代田区、代表取締役：徳岡治衛、以下「理研免疫再生医学」）が開発した NKT 細胞を用いた治療法を行う医療機関へのメディカルツーリズムサービスの独占的提携を行うことになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 子会社の概要

【名 称】株式会社キュアリサーチ（以下「キュアリサーチ」）

尚、当初名称は株式会社花園先端医学研究所を予定しておりましたが、医療事務代行の業容を今後広げるため、名称を変更しております。

【設立年月】平成 29 年 7 月 7 日

【決算期】3 月

【代表取締役】関根 秀博（現株式会社 C メディカル 取締役）

尚、当初代表取締役は藤林美枝子氏を予定しておりましたが、医療事務代行の業容を今後広げるにあたり、医療法人との連携が重要であることから、同じ株式会社 C メディカルの取締役で医療法人理事の経歴のある関根秀博氏に代表取締役を変更しております。

【取 締 役】石井 浩之（現株式会社マスターマインド代表取締役、株式会社ヘルスクエスト取締役）

大脇 功嗣（現五洋インテックス株式会社代表取締役社長）

小林 光博（現五洋インテックス株式会社取締役管理部長兼新規事業部長）

【監 査 役】名井 博明（現五洋インテックス株式会社社外取締役）

【顧 問】檜崎 幹雄（医学博士、花園クリニック勤務・中国河北医科大学客員教授・天津医科大学客員教授）

外山 雅章（医学博士、心臓血管外科専門医。中国北京大学医学部客員教授・蘇州大学医学部客員教授）

尚、両顧問の経歴につきましては平成 29 年 5 月 19 日付「先端医療検査に関わるサービス事業への参入及び先端医療検査に関わるサービス事業の子会社設立に関するお知らせ」に記載しております。

【所 在 地】東京都品川区西五反田 7-13-5 DK 五反田ビル 8F

尚、平成 29 年 9 月 20 日付で東京都中央区八重洲に本店移転を予定しております。

【資 本 金】100 百万円

【出資比率】五洋インテックス株式会社 100%

2. 先端医療検査に関わるサービス事業の途中経過

①健康予防医療的サービス

外山雅章医学博士の指導の下、RNA検査を行う医療機関の選定作業を行っており、また、国内外の健康補助食品会社、販売会社と連携し、サプリメントの開発及び販売網の構築をしております。事業の開始は、当初の予定通り平成 30 年4月を予定しております。

②遺伝子検査の事務代行サービス

檜崎幹雄医学博士の指導の下、新型出生前診断検査(以下「NIPT 検査」)の事務代行サービス業務につきましては、検査会社及び医療機関等の提携を進め、早期に業務開始(平成 29 年 12 月1日を予定)ができるよう準備を進めております。

3. 理研免疫再生医学が開発した NKT 細胞を用いた治療法を行う医療機関へのメディカルツーリズムサービスについて

ガン患者の治療を目的とした免疫治療は、NK(ナチュラルキラー)細胞(注1)を用いた治療から、次世代の治療としてNKT(ナチュラルキラーT)細胞を用いた治療が主流になりつつあります。

理研免疫再生医学は免疫細胞を用いた療法において独自の技術開発を進め、複数の発明を有し(特許出願中)NKT細胞による高い抗腫瘍効果を用いた新しい治療法(注2)を提供しております。

元来、NKT 細胞とその機能を用いた基礎的研究は理化学研究所などで進められてきましたが、理研免疫再生医学では、この基礎技術を実用に転じせしめ、さらに改良を加えることにより、独自の療法(RIKNKT)を開発し、ガン患者への適用を可能としました。既に、医療機関を通じて複数の患者への提供を行い、効果が確認され、今後の広がりが期待されております。

また、既に理研免疫再生医学は、その技術を、Mayo Clinic Hong Kong Service Center(香港)(注3)に提供しており、同医療機関では、中華人民共和国(以下「中国」)から多くの富裕層の患者を受け入れ治療しておりますが、その患者数の増加に対応しきれなくなってきております。

現在、中国国内においてはガンの免疫治療は認められておらず、免疫治療を希望する多くの患者は、香港等にて治療を行っておりますが、中国の患者には、医療先進国で安心、安全、信用のある日本国内での治療を希望する方も多く、また、日本政府もインバウンドの一環としてメディカルツーリズムに積極的であるとの報道もなされております。

キュアリサーチでは、理研免疫再生医学で開発された NKT 細胞を用いた治療法を行うクリニックへの国外からの予約等を独占的に行うサービス提供を開始(平成 29 年 12 月1日を予定)します。

今回の提携が、今後の当社グループの事業拡大に繋がることを期待しております。

注1. NKT 細胞が持つガン免疫細胞療法の特徴は、人が生来保有している自然免疫系と後天的に獲得する獲得免疫系の両方の性質を併せ持ち、従前知られているナチュラルキラー(NK)細胞の機能により自然免疫系エフェクター様の迅速な機能発現を呈するほか、同様に T 細胞などで知られる獲得免疫系との連携を行い、迅速で多量、多彩な因子を産生し、炎症や免疫応答を調節するものであり、この機能により高い抗腫瘍効果を持ちます。

注2:NKT 細胞を用いたガン免疫療法は、その作用機序により一般に NKT 細胞標的治療と呼ばれますが、体内にある患者自身の血液成分の一部を取り出して加工し、再び体内に戻すことにより、体内にあるNKT細胞の活性を高めることによって人が本来持つ基本的な生体防御機構である免疫力を高め、即ち患者の免疫力を高めることにより、体内の腫瘍に効果的に影響を与えます。

この療法は、患者の QOL(Quality Of Life)を尊重した治療を行えることも意義があります。それ自体が有力なガン治療法でありガン治療の柱となりますが、人が本来持つ生体防御機構である免疫応答を用いるものであるため、高い QOL を保ち、外科的療法や放射線治療など幅広い他の治療法との併用も用いることが可能であり、その組み合わせと相互作用により一掃の高いレベル治療効果をあげると期待されており、また、副作用も少ないと考えられています。

注3 : MayoClinic Hong Kong ServiceCenter は、Medisun Holdings の参加の医療機関であり、米国 Mayo Clinic(ミネソタ州ロチェスターに本部を置く総合病院)と医療コンサルティングサービスにおいて提携している。米国 Mayo Clinic は、「全米優れた病院」で2位にランクされた経歴や、アメリカ合衆国の歴代大統領をはじめ、各界のVIPも診療もしている。

4. メディカルツーリズムサービスの詳細

キュアリサーチの行う業務は、理研免疫再生医学が開発した NKT 細胞の培養技術を用いて、治療を行う医療機関に対し、国外からの患者からの申込受付を行います。具体的には、中国国内で疾患を持つ患者のデータを中国の現地のエージェントがキュアリサーチに送付します。そのデータを日本語に翻訳の上、日本の医師が所見を付します。所見を付したデータをキュアリサーチが中国のエージェントへ送付します。その上で、日本国内において詳細な検査が必要な患者には、キュアリサーチが提携の日本国内の医療機関を斡旋いたします。

患者は、訪日して日本国内にて詳細な検診を受けた後、一旦帰国します。その検診の診断結果は、キュアリサーチを通し、中国のエージェントに送付いたします。

その結果により日本国内において、ガン治療を希望する患者に対し、治療を行う医療機関を紹介します。この一連の業務に関して1患者当たり40万円の売り上げを見込んでおります。

中国では、2015年ガンの新規診断数は約430万人で、ガンが原因による死者数は約280万人です。中国ではガン専門病院が少なく、がん患者の治療体制には不備があり、ガン治療のための日本へのメディカルツーリズムを希望する人口は年々増えております。現在、中国では日本で治療を希望する潜在患者が相当程度いると言われております。

従来、中国では免疫治療の需要は非常に高かったですが、細胞培養伴う免疫治療は、中国の一般的な病院では、許可が下りていないことと専門人材が少ないことなどから、多数のガン患者が日本への治療を求めています。免疫治療は、放射線、外科的あるいは抗がん剤治療との併用も可能であり、患者数の見込みとしては、当初は、月間30人程度を目指しております。

また、提携する医療機関等を増やすことや中国でのエージェントを増やすことで、最終的には月間100人を目指してまいります。

5. 株式会社理研免疫再生医学の概要

(1) 商号	株式会社理研免疫再生医学
(2) 本店所在地	東京都千代田区一番町10番2号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 徳岡治衛
(4) 事業内容	遺伝子・細胞・組織等を用いた先端医療事業および支援事業
(5) 資本金の額	1億4002万5000円
(6) 設立年月日	平成26年10月23日

6. 今後の見通し

本提携が当社の業績に与える影響につきましては、判明しだい、改めて開示いたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想(平成29年5月12日公表分)及び前期連結実績(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成30年3月期)	2,400	70	55	40
前期連結実績 (平成29年3月期)	2,164	△22	△27	△24